

## 第217回 上級 原価計算 ①

### 問題 1

#### 問 1

直接材料費

等級製品A [ ⑤ 1,170,000 ] 円      等級製品B [ ⑤ 1,201,500 ] 円  
等級製品C [ 903,000 ] 円

加工費

等級製品A [ 678,600 ] 円      等級製品B [ ⑤ 619,200 ] 円  
等級製品C [ ⑤ 442,800 ] 円

#### 問 2

正常減損費

等級製品A [ ⑤ 67,000 ] 円      等級製品B [ 41,250 ] 円  
等級製品C [ ⑤ 82,500 ] 円

#### 問 3

月末仕掛品原価

等級製品A [ ⑤ 77,750 ] 円      等級製品B [ 116,570 ] 円  
等級製品C [ ⑤ 162,250 ] 円

#### 問 4

完成品原価

等級製品A [ 1,899,050 ] 円      等級製品B [ ⑤ 1,924,300 ] 円  
等級製品C [ ⑤ 1,262,250 ] 円

#### 問 5

異常減損費は非原価とする。また、正常減損費は、それを分離せずに計算上無視する度外視法または  
計算上分離して把握する非度外視法で処理し、良品の原価に加算する。 ⑩

## 第217回 上級 原価計算 ②

## 問題2

## 問1

損益計算書（直接原価計算方式）

（単位：円）

売上高	[ ②	4,860,000	]
変動売上原価	[ ②	2,027,500	]
変動製造マージン	[	2,832,500	]
変動販売費	[ ②	486,000	]
貢献利益	[	2,346,500	]
固定製造間接費	[ ②	643,800	]
固定販売費	[	585,800	]
一般管理費	[	612,500	]
営業利益	[ ②	504,400	]

## 問2

借 方	金 額	貸 方	金 額
繰延固定製造間接費	99,900	繰延固定製造間接費	52,500
		固定費調整	47,400

すべて正解で⑤

## 問3

借 方	金 額	貸 方	金 額
固定費調整	47,400	損 益	47,400

すべて正解で⑤

## 問4

全部原価計算による営業利益 [ ⑤ 551,800 ] 円

## 問5

- 外部報告の形式として認められていないため、固定費調整額を全部原価計算の利益に調整する必要がある。⑤
- 価格設定に用いると、長期的に固定費が回収できない価格を設定してしまうおそれがある。⑤
- 原価を変動費と固定費に分解するのが難しい場合がある。⑤

## 第217回 上級 管理会計 ①

### 問題 1

#### 問 1

	損益分岐点売上高	
A事業部	[ ② 6,857,143 ]	円
B事業部	[ ② 7,333,334 ]	円
C事業部	[ ② 4,571,429 ]	円
全社	[ ② 20,137,932 ]	円

#### 問 2

変動費率	[ ⑤ 70.5 ]	%
損益分岐点売上高	[ ⑤ 19,796,611 ]	円

#### 問 3

結論 ( 閉鎖するべきである 閉鎖するべきでない ) ←適切な方を○で囲む ②

理由 A事業部を閉鎖しても個別固定費は24万円(=120万円×20%)しか削減できないが、貢献利益は70万円減少してしまい、全社利益が前期より46万円減少してしまうため。 ⑤

#### 問 4

C事業部マージン [ ⑤ 320,000 ] 円 全社利益 [ ⑤ 280,000 ] 円

#### 計算過程

C事業部の貢献利益 :  $2,100,000円 \times 160\% = 3,360,000円$

C事業部の事業部マージン :  $3,360,000円 - (1,600,000円 + 960,000円 + 480,000円) = 320,000円$

全社利益 : B事業部800,000円 + C事業部320,000円 - 共通固定費840,000円 = 280,000円

⑤

#### 問 5

問題 事業部マージンは、事業部長にとって管理不能な個別費が控除されており、この利益で事業部長の業績を判断するのは不適切である。 ⑤

方法 事業部長の業績評価のためには、貢献利益から管理可能個別固定費のみ控除した管理可能利益を用いるべきである。 ⑤

## 第217回 上級 管理会計 ②

### 問題2

#### 問1

仕 損 量 [ ⑤ 400 ] kg

#### 問2

月末仕掛品原価 [ ⑤ 11,446,765 ] 円

完 成 品 原 価 [ ⑤ 52,716,235 ] 円

#### 問3

成形段階の廃棄物コスト [ ⑤ 2,084,230 ] 円

切断・研磨段階の廃棄物コスト [ ⑤ 7,864,237 ] 円

#### 問4

投入点と同じ原材料費をまとめて廃棄物コストを計算しているので、マテリアルごとのフローとストックが判明せず、どの段階で非効率が発生しているか不明である。 ⑩

### 問題3

	正誤	理 由
①	○	
②	×	積み上げ法により設定された原価は許容原価ではなく成行原価という。
③	×	本文は、製品別原価改善についての説明である。

各⑤